

一般社団法人日本解剖学会 2019年度第1回理事会次第（新旧合同理事会）議事録

日時：2019年1月26日（土）11：50～14：15

場所：A P 東京八重洲通り（7階Qルーム）

出席者：岡部繁男（理事長）、木山 博資、寺田 純雄、仲嶋 一範、八木沼 洋行（以上、常務理事）、大塚 愛二、小澤 一史、小路 武彦、城戸 瑞穂、篠田 晃、中村 桂一郎、西 真弓、藤本 豊士、藤山 文乃、渡部 剛（以上、理事）、松村 譲児、渡辺 雅彦（以上、監事）、阪上 洋行、松崎 利行（以上、常任幹事）、宍戸基行、中村 聡（以上、口腔保健協会）

陪席者：天野 修、尾崎紀之、野田泰子、福田孝一、八木秀司（以上、次期理事予定者）

欠席者：牛木 辰男、佐藤 真、島田昌一、千田隆夫（以上、理事）、堀 修（次期理事予定者）

I. 理事長 挨拶

II. 議事録署名人の選任：定款第39条の規定により、松村・渡辺両監事を選出された。

III. 会議記録の確認

以下の議事録が確認された。

(1) 2018年(平成30年)度第5回理事会（平成30年12月16日開催）議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 教授就任による代議員承認について

資料に基づき、教授就任による以下の1名の代議員申請者が常務理事会で承認されたことが報告された。

吉子 裕二 先生（広島大・歯・組織代謝生物学 平成24年10月1日就任）

(2) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、年会費納入状況について報告された。3年以上の会費未納者は、第124回総会・全国学術集会の終了までに納金がない場合は除名となるため、理事に対して各支部の未納者に会費納入を促すように協力を求めた。

(3) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会の活動報告書内容が報告された。

(4) 平成31年度定時社員総会の資料作成について

資料に基づき、平成31年度定時社員総会の資料内容について報告された。今後、実施予定の監事及び独立監査人の事業監査の結果などを反映させて、最終版の資料とすることが説明された。

(5) 平成31年度定時社員総会の案内と書面表決状について

資料に基づき、平成30年度定時社員総会の案内と書面表決状について説明された。

(6) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、①第17期男女共同参画学協会連絡会 第1回運営委員会(2018年12月10日開催)の議事内容、②大学高等教育機関の入学試験に対する声明内容、③研究力強化に向けた女性活躍指標の整備に関する要望(案)に対する賛同の依頼について報告された。③に関しては、常務理事会で審議した結果、本学会として賛同する返事を出すことが承認されたことが報告された。

(7) 死体解剖保存法施行規則の一部を改正する省令の施行について

資料に基づき、2018年12月11日に公布施行された死体解剖保存法施行規則の一部を改正する省令内容について報告された。

(8) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) ICD-11和訳について

資料に基づき、WHOが公表した国際疾病分類の第11回改訂版の解剖用語の和訳に関する厚生労働省国際分類情報管理室から依頼に対して、解剖学会用語委員会において、坂井委員長のもと、

7名の委員が分担して対応していることが報告された。担当する用語が3,032語もあり、委員の負担が大きいことより、今後、常務理事会として、最終確認作業を専門分野の学会員に委嘱するなどのサポートを必要に応じて行う予定であることが報告された。

(2) 解剖学雑誌電子化について

資料に基づき、解剖学雑誌電子化に関する概算見積書内容について説明され、前回の理事会での承認された予算200万円以内での実施が可能であることより、解剖学雑誌電子化の実施が承認された。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2019(平成31)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、2019(平成31)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について、第3回プログラム委員会(2018年12月22日開催)で検討されたプログラム内容と日程に関する修正内容が報告された。

(2) 「若手研究者の会」準備状況について

資料に基づき、「若手研究者の会」設立準備委員会委員の現況と大会第3日目のランチョン討論会の開催に向けた準備状況が説明され、理事に若手研究者の参加を促すよう協力を求めた。

(3) 賞・研究費候補者選考委員会報告

資料に基づき、2018(平成30)年度日本解剖学会奨励賞の選考に関する賞・研究費候補者選考委員会での報告書内容が説明された。委員会からの申し送り事項に対応して、申請書記載事項に申請歴と研究分野を追加することが報告された。また、選考において解剖学分野の教育経験・実績を評価するか否かに関して議論した結果、今後、奨励賞の在り方も含めて、学術委員会や教育・若手育成委員会で検討してもらうことので了承された。

(4) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、アウトリーチ委員会で作成した第30回日本医学会総会2019中部での学会紹介用のポスター内容が報告された。

(5) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、日本学術会議第24期生物科学分科会・生物科学分野教育用語検討小委員会が取りまとめた「高等学校の生物教育における重要用語の選定について」に対して、医学用語とできる限り整合性をとった修正案を解剖学用語委員会で取りまとめ、本学会として答申したことが報告された。

(6) 日本脳科学関連学会連合

資料に基づき、脳科学将来構想委員会の構成委員が決定された事が報告された。

(7) 技術職員に関するアンケートについて

資料に基づき、技術職員に関するアンケートの回答を2019年1月10日で締切り(80/97校回答、回答率82.5%)、現在、集計を行っていることが報告された。今後、未回答校にアンケートへの協力を再度依頼するとともに、次期の解剖体、教育・若手育成、認定解剖組織技術者資格審査3委員会において、集計結果の分析と活用に関する協議を継続してもらうことので了承された。

(8) 認定一級技術者試験の過去問公開について

資料に基づき、委員会作成原案に一部修正を加えて、2月初旬の学会ウェブページへの掲載とOHASYSでの会員への配信により、認定一級技術者試験の過去問を公開する予定であることが報告された。

(9) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 平成30年度支部学術集会収支報告について

第28回関東支部懇話会、第106回関東支部学術集会、第78回中部支部学術集会、第94回近畿支部学術集会、第73回中国・四国支部学術集会、第74回九州支部学術集会の収支決算報告書の内容が報告された。

(2) 平成30年度決算書概要(案)について

資料に基づき、平成30年度決算報告書(平成30年1月1日～12月31日)について説明され、当期収支差額は黒字ではあるが、新規入会者や会員数の減少による受取入会金と会費収入の減少など長期的な視点での懸念事項もあり、今後の推移を注視する必要があることが報告された。

(3) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、厚労省と文科省におけるCST関連の来年度予算案の内容が報告された。厚労省予算は約2.9億円で今年度と同様の内訳であるのに対して、文科省予算は課題解決型高度医療人材養成プログラム(外科解剖・手術領域)に対する新規予算(0.6億)で、複数の大学間の連携による大学院過程でのCST関連教育プログラムの確立と拠点化を目指すもので、解剖実習体を活用した国内での医療機器の研究開発の推進も含まれており、今後生じる法的な問題も含めて、CST委員会において検討中であることが報告された。また、第124回日本解剖学会総会・全国学術集会において、CST関連のシンポジウムを開催し、学会員に情報を提供する予定であることが報告された。

(4) その他

特になし。

V. 審議事項

1. 平成31年度予算(案)について

資料に基づき、平成31年度予算(案)について説明され、審議の結果、承認された。

2. 永年会員の推薦について

資料に基づき、本人の意思確認の結果をふまえて10名を永年会員として推薦することが説明され、審議の結果、承認された。意思確認の問い合わせに未回答の候補者については、後日推薦希望の回答があればメール審議にかけることになった。

3. 名誉会員メダル作成について

資料に基づき、名誉会員に対して社員総会時に名誉会員称号記とともに授与するメダルのデザイン案が説明され、審議の結果、承認された。

4. 商業誌における転載許諾の取り扱いについて(編集)

資料に基づき、学術著作権協会への転載複製利用権利の管理受託について説明された。審議の結果、「解剖学雑誌」の「アナログ複写複製」「デジタル複写複製」について委託し、「転載」は委託しないこと、また「ASI」誌については冊子・電子版ともに委託しないこととし、その旨学術著作権協会に回答することとなった。ASI等の商業誌における転載許諾に関する著作権規定(案)については、著作権利用の許諾を必要とする対象を、「主として商用(製薬会社の販促用資料等)の目的とする場合」と明文化し、使用料を学術著作権協会のそれに準じて設定した修正案が説明され、審議の結果、承認された。

5. 定款、ならびに代議員選出規程の一部改正について

資料に基づき、定款及び代議員選出規定について、①役員及び会計監査人の選出の基準日を明確にするために「役員就任の予定日に満65歳以上になる代議員は役員候補者の選出時点で被選挙権を持たない」とし、②代議員数の下限を300名から200名に変更する修正案が説明された。審議の結果、了承され、総会で諮ることとした。

6. KAAとの若手会員交流協定の締結について

資料に基づき、若手解剖学者のプロモーションと交流を目的としたKAAとの若手会員交流協定案の内容が説明され、審議の結果、了承された。KAAとの若手会員交流に関しては、第125回日本解剖学会全国学術集会からの実施に向けて、協議することとした。

7. 次期理事会への申し送り事項について
資料に基づき、岡部理事長より次期理事会への申し送り事項が説明された。
8. 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について
常務理事会 3月26日(火) 09:20～11:20 (日本歯科大学新潟生命歯学部4号館セミナー室)
支部長会 3月26日(火) 11:20～11:50 (日本歯科大学新潟生命歯学部4号館セミナー室)
理事会 3月26日(火) 16:10～18:10 (日本歯科大学新潟生命歯学部8号館2F会議室)
定時社員総会 3月27日(水) 10:50～12:00 (朱鷺メッセA会場(4F「マリンホール」))
次期常務理事会 3月28日(木) 17:20～17:50 (朱鷺メッセ 小会議室306)
次期理事会 3月28日(木) 17:50～18:20 (朱鷺メッセ 小会議室306)
各種委員会 3月27日(水)～3/29(金)
9. その他
特になし。

上記の2019年(平成31年)度第1回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人(監事)はここに記名押印する。

2019年(平成31年)月 日

一般社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人